



高橋ゆうこ県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

県がリーダーシップを

消防の広域化推進を！



本会議場で一般質問を行う高橋県議

市町村」に指定され、早期に広域化に取り組む必要があるとして、2つの組み合わせパターンが示された。

しかし、こうした連携は、市町村のみでできることではなく、ましてや「広域化対象市町村」から協議を呼びかけることは現実的には非常に困難。広域化の実現に向けては、県の主導的役割が

前回の計画では、何の動きもなかった。だから今回は、市町村任せにせず、県にもっと真剣に動いてもらいたい。奈良県は知事が強いリーダーシップを発揮し広域化を成し遂げた。千葉県も知事がリーダーシップをとるべきではないか。

防災危機管理部長 県では計画に基づき、奈良県など先行事例も参考に、県が主体となって関係市町村間の調整に努め、広域化の実現をはかっています。

高橋議員 計画にある広域化パターンの関係市町村長部局及び当該消防本部との協議の場を、千葉県が積極的に設けるつもりはないか。

防災危機管理部長 県では本年五月以降、広域化推進計画の説明会を開催し、機運の醸成を図っているところです。

高橋議員 計画にある広域化パターンの関係市町村長部局及び当該消防本部との協議の場を、千葉県が積極的に設けるつもりはないか。

●県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

高橋ゆうこ 県議事務所

〒286-0221 富里市七栄723-2
TEL 0476-33-7252 FAX 0476-33-7253

富里市選出で、昨年4月の県議選で自民党としては初の女性県議となり、市議会から県議会へ活躍の舞台を移した高橋ゆうこ県議は、12月定例議会の一般質問に立ち、本会議場に初めて登壇しました。高橋県議は、今回の甚大な台風及び豪雨災害を受け、消防の体制強化は喫緊の課題だと指摘。そして、消防の広域化に向けては、森田知事が自らリーダーシップを発揮して、市町村任せにせず、もっと積極的に動いてほしいと訴えました。また、台風被害の著しい特産のスイカ栽培への支援策など、高橋県議の主な質疑を特集しました。

消防の体制強化へ

高橋議員 今回の台風でも大活躍された消防は、まさに地域防災の要。近年、より激甚化している災害を見れば、これまで以上に消防の体制強化が必要となってきた。

不可欠である。県が調整役となってテールをセットし、特に受け入れ側の自治体に、さまざまな分野でのスケールメリットを示し、財政措置など制度的な努力をして、合意形成に向けた調整を積極的に進めていくことが重要。広域化の推進は、県が責任を持つべきで、千葉県

富里市など小規模な10の消防本部が「広域化対象

富里市など小規模な10の消防本部が「広域化対象

第1小、富中前交差点

高橋議員 道路問題について伺う。国道409号の富里第一小学校前の交差点及び県道成田西国線の富里中学校前交差点における段差解消に向けた取り組み状況はどうか。

高橋議員 国道296号富里七栄地先大六天交差点改良の進捗状況はどうか。

大六天交差点の改良

高橋議員 当該交差点では、一部区間で歩道が整備されておらず、また、右折レーンがないことから朝夕を中心に渋滞が発生しています。

12月県議会に初登壇

富里市など小規模な10の消防本部が「広域化対象

富里市など小規模な10の消防本部が「広域化対象

富里市など小規模な10の消防本部が「広域化対象

富里市など小規模な10の消防本部が「広域化対象

富里市など小規模な10の消防本部が「広域化対象

スイカのハウス栽培

早期復旧に向け、再建費用を助成

高橋議員 富里市は、全国でも有数のスイカの生産地であり、5月から出荷が始まるスイカの栽培用ビニールハウスが台風15号により、壊滅的な被害を受けた。

未だ資材や人手が確保できないため、ハウススイカの準備が間に合わない状況となっている。そこで、本県特産のスイカの生産にどのような影響があるのか。また、県としては、どのような対策を考えているのか。

森田知事 本県産のスイカは、5月に出荷されるハウス栽培と6月、7月に出荷されるトンネル栽培を組み合わせて栽培が行われていますが、多くのビニールハウスの損壊により、5月の出荷量の減少が懸念されています。

このため県では、ビニールハウスの早期復旧に向け、再建費用の助成に加え、資材や人手の確保について、関係業者に協力を依頼し、さらに復旧が間に合わない場合に備え、トンネル栽培でも5月下旬には出荷できる

防災体制の見直しを

高橋議員 一連の台風被害を受けて、県は防災体制をしっかりと見直すべきと考えます。今回のような長期間の停電など、あらゆる想定をした地域防災計画を作るべきだと思うがどうか。

防災危機管理部長 県の地域防災計画では、自然災害については、地震・津波、水害、土砂災害、風害、雪害などを、また、大規模

よう、保温技術の指導を行います。

また、来年のオリンピック・パラリンピックで需要が見込まれる7月、8月の出荷に適する品種の提案を行うなど、本県産スイカの集荷量の確保に努めてまいります。

な事故等については、放射性物質事故や油海上流出災害のほか、航空機や鉄道事故などの公共交通事故を想定しています。

県としては、このたびの一連の災害を踏まえ、今後、国の防災基本計画などを基に、風害に伴う大規模停電などを想定に加えるなど、計画の更なる充実に取り組んでまいります。

高橋議員 県庁舎の長期停電を想定した業務継続計画は作成しているのか。

防災危機管理部長 県では、大規模震災と新型インフルエンザ発生に備えた業務継続計画を策定しており、このうち大規模震災に対する業務継続計画では、長期間にわたる停電を想定しており、非常用発電機の整備や災害時に優先して取り組む業務を定めています。

業務継続計画については、近年の災害の発生状況など、本県を取り巻く環境変化を



自席から再質問に立つ高橋県議

踏まえ、適宜見直しを行い、充実を図ってまいります。

要望 危機管理専門職として配置されている災害・危機対策監について、災害発生時には災害対策本部の中心的存在となる

銚子沖の洋上風力発電

高橋議員 銚子沖の洋上風力発電について、県としてはどのようにリーダーシップを発揮していく考えか。

商工労働部長 銚子沖の海域は、促進地域の指定を目指し、現在、協議会において、国、県、地元市、漁業関係者等で協議を行っています。

県では、洋上風力発電に対する漁業者等の関係者の理解が深まるよう努めるとともに、漁業共生や地域振興に資する形で「促進区域」が指定されるよう、協議会等の場を通じて、国、

べき。各部長とも対等にかつスムーズに連携せねばなりません。そのためには、職級は少なくとも部長級であることが必要。現在の立場やあり方を見直すべきだと思います。

県、地元市、漁業関係者等との間で調整を行ってまいります。

要望 ついては、風力産業の集積を千葉県の中に起こすというビッグプロジェクトです。風車といったら銚子、トヨタのような企業城下町を目指すべきではないでしょうか。決めるのは国ですが、何が何でも呼び込もう、誘致しよう、それが県の仕事だと思えますので、そういった姿勢でお願いしたいと要望します。

高齢ドライバーの事故防止 安全運転サポート車補助を

高橋議員 安全運転支援装置は、高齢ドライバーによる交通事故の防止や事故時の被害軽減に効果があると考えますが、県警の認識はどうか。

警察本部長 いわゆる安全運転サポート車は、政府においても、高齢者を含めたドライバーの事故防止、事故による被害の軽減に有効なものであることが必要。現在の立場やあり方を見直すべきだと思います。

さらに、先般閣議決定された経済対策の中に示された安全運転サポート車購入補助を含め、国の高齢運転者対策の動向も注視して対応してまいります。

進的な安全運転装置を搭載した自動車の普及啓発を図るべきと考えますがどうか。

環境生活部長 県ではこれまでも安全運転サポート車の広報啓発を行ってきましたが、本年度は新たに、高齢運転者やその家族を対象に、安全運転サポート車の試乗体験などのイベントを開催し、先進的な安全装置への理解を深めることとしています。

要望 国は補助するに決めたのだから、千葉県も決断すべき。交通事故を防止し、また、事故を起こした際の被害を少しでも軽減する上で効果があるものと認識しています。

高橋議員 交通事故死亡者数ワースト1位の汚名返上をかけて、本県においても購入補助を含めて、先

守ることもありません。補助導入を強く要望します。

防災計画に停電等の想定も



河野防衛大臣(左)、五十嵐市長(右)と自衛隊の倒木撤去作業を視察する高橋県議(中央) =9月15日、富里市根木名地先=

高橋ゆうこプロフィール

経歴

- 富里市御料生まれ
- 富里南小学校卒業
- 成田高校付属中学校卒業
- 成田高校卒業
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 平成23年 富里市議会議員当選
- 平成27年 富里市議会議員当選
- 平成31年 千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 県土整備常任委員会委員
- 県議会 議会運営委員会委員